

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称： 第二しらとり台保育園	種別： 児童分野 認可保育所
代表者氏名： 園長 岡ゆかり	定員（利用人数）： 90名（108名）
所在地： 〒224-0021 横浜市都筑区北山田3-4-14	
TEL： . 045-592-1340	ホームページ： http://xn--4kqu10i.xn--68j8a2ff9021b1dfp4fw90h.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1997年11月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人しらとり台保育園	
職員数	常勤職員： 27名 非常勤職員 1名
専門職員	保育士 20名 栄養士 2名
	看護師 1名 調理師 2名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
	7室 保育室、事務室、調理室、ホール 調乳室、職員休憩室、医務室 など

③ 理念・基本方針

(保育理念) <ul style="list-style-type: none">・『知』かしこく・・・知性を育てる・『徳』やさしい・・・道徳的な面を育てる・『体』げんき・・・体を育てる
(保育方針) <ul style="list-style-type: none">・自分で考え行動できる子ども・明るく素直で思いやりのある子ども

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none">・保育理念は子どもの生涯必要な素質を育てる事を掲げている。・2歳児クラスからは、指定のかばん及び制服がある。・子どもひとり一人、家庭ひとつ一つを大切にしている。面談も必要に応じて随時行っている。・体育指導、書き方指導、英語、楽器指導。・バディ活動、バイキング給食、季節行事、リーダー活動。・クッキング保育、プチコック、給食、手作りおやつを提供。・パンフレットの発行、ホームページの開設。・園内研修、法人の五園合同研修会。・外部研修⇒園内にて発表の場を設け、改善、新人職員研修会。・法人内での運動会、発表会の見学。法人内での会議を定期的で開催している。・月一職員会議にて、クラスの改善目標の設定。月一の自己評価。・守秘義務に対する、誓約書、環境に対する配慮事項。・新人職員研修会、法人の研修にて理念を周知している。
--

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月5日（契約日） ～ 2023年2月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特徴】

◆子どもたちはバディ活動を通じて自分で考えて行動し、整えられた環境の中、のびのびと過ごしています

2歳児と5歳児、3歳児と4歳児がペアを組み、普段の生活や行事を通して触れ合っています。自分より年齢が低いお友達と接するときにはどうしたよいかを考えるようになり、園庭遊びで動きのある遊びを楽しんでいても、「〇〇組さんが来るから別の遊びをしよう。」と、自然に子どもたちから声があがっていました。また、保育士も「こういうときはどうしたらいいかな」と子どもに考えさせるような声掛けを行っています。保育士達はていねいな言葉づかいで子どもたちに接しており、子どもたちを急かすようなことはせず、子どもたちは安心できる落ち着いた環境の中で、のびのび過ごしています。

◆園全体で「子どもの人権を尊重すること」に意識を高めるとともに、日ごろから一つの出来事を園全体のことと捉え、職員間で共有し、考える姿勢があります

保育室や廊下に「よりよい保育を行うためのチェックポイント」が掲示されています。これは、15年目の職員が考えて作成し、園内で共有しているものです。このほかにも、否定的な言葉にならないよう、肯定的な意味に言葉を置き換える「リフレーミング語録」も取り入れ、園全体で子どもを大切に、子どもの人権を尊重する姿勢があります。また、その日の子どもの出欠が一目でわかる出欠ボードやクラスボード、伝達ボードなどによる情報共有のほか、クラスリーダーで行っていた終礼を昼ミーティングに変えるなどの工夫により、いっそう園内の情報共有に漏れがないようにしています。クラスボードの裏面は、昨今の置き去り事件があったことから、置き去り防止のチェックリストに変えるなど、よりよいものに変えていくよう園全体で努めています。

◆マニュアルが整備され、共通理解を図る工夫をしています

園としての倫理綱領や人材育成についての基本方針・方法の他、各種マニュアルが整備され、職員は共通理解が図りやすく、業務内容についても同じ対応が取れるようにしています。園の理念や基本方針とマニュアルの中でも日常的に使うものは、「ポケット手帳」を作成し、職員が常に携帯し保育に臨んでいます。マニュアル類は定期的に見直すほか、職員の気づきにより都度変更する場合もあり、臨機応変に対応しています。

【今後期待される点】

◆保育所としての役割を考慮しながら、変わりゆく社会に対応するチャレンジ精神に期待します

園の保育理念・保育方針に基づき全体的な計画、年間保育計画等が作成されており、その実現に向かって様々な取組がなされていますが、今後、子どもたちが自由にやりたいことができる環境をより一層整え、地域の様々な人との関わりを通して、子どもたちの豊かな経験につながるような取組をさらに展開されることを期待します。

また、保護者や地域と互いに支え合い、ともに子どもを育てていく保育所としての

役割も考慮しながら、園としての考えを大切にしつつも、変わっていく社会に対応する柔軟性やチャレンジ精神にも期待します。

◆中期計画と単年度計画の整合性と数値目標や具体的な成果等を設定することが期待されます。

中期計画としておおむね5年をめぐり2つの目標が設定されていて、さらにそれぞれに具体的な重点課題が設定されています。ただし、どのような方法で具体的に取り組んでいくかは明確ではありません。そのために、その計画の実施状況を評価できる構造とはなっていません。さらに単年度事業計画も具体的な成果を把握する指標の設定が今後の課題となります。また単年度計画は中期計画を反映して策定していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審し、当園の提供している保育事業に対して、評価機関の方の客観的な立場から評価をいただきありがとうございました。この評価結果は、今後のより良い保育を提供していくための具体的な参考内容となりました。

評価の高い点については、日々の保育の自信に繋がり今後も継続してより良い施設を目指して更に努力していきたいと思いました。また、子ども達の健やかな成長のために、保育環境の整備がいかに重要であるかということにも気付かされました。改善を求められた内容に関しましては、具体的な対策を考え、保育士の意識の向上や保育事業の向上に努めていきたいと考えています。

この度は、様々な観点から評価をいただき、書類の見直しや作成の機会を設けることができ、感謝いたします。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり